

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月30日

上場会社名 クラスターテクノロジー株式会社  
 コード番号 4240 URL <http://www.cluster-tech.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安達 稔  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 成瀬 俊彦  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日  
 配当支払開始予定日 ー

上場取引所 大

TEL 06-6726-2711

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	160	△35.8	△24	—	△20	—	△21	—
21年3月期第1四半期	250	—	2	—	1	—	0	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△374.18	—
21年3月期第1四半期	10.09	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
22年3月期第1四半期	1,917	—	1,816	—	94.7	31,899.96
21年3月期	1,949	—	1,837	—	94.2	32,274.14

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,816百万円 21年3月期 1,837百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	322	△25.1	△79	—	△76	—	△77	—	△1,369.62
通期	726	△6.7	△120	—	△114	—	△118	—	△2,075.31

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	56,928株	21年3月期	56,928株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	—株	21年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	56,928株	21年3月期第1四半期	56,928株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、世界的な金融危機が及ぼした影響は大きく、企業収益や雇用情勢の悪化や設備投資の抑制、個人消費の低迷など、景気は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、第1四半期累計期間においてエレクトロニクス分野での不振が続いた上、大手企業における研究投資が抑制されたため、ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業が大きく落ち込みました。

また、設備投資関連分野のマクロ・テクノロジー関連事業もプラント向きが不振でかなりの減少となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

#### ・ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業

ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業であるパルスインジェクター及び精密成形品の当第1四半期累計期間の売上高は118百万円（前年同期比39.5%減）となりました。

#### ・マクロ・テクノロジー関連事業

マクロ・テクノロジー関連事業である成形碼子、成形碼子用複合材料及び金型・部品の当第1四半期累計期間の売上高は42百万円（前年同期比23.1%減）となりました。

#### ・その他事業

医療品容器の異物検査事業の当第1四半期累計期間の売上高は0百万円（前年同期比65.2%減）でありました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は、160百万円（前年同期比35.8%減）、営業損失24百万円（前年同期2百万円の利益）、経常損失20百万円（前年同期1百万円の利益）、四半期純損失21百万円（前年同期0百万円の純利益）となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### ①当第1四半期末の財政状態

財政状態につきましては、総資産は1,917百万円となり、平成21年3月期に比して32百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が減少したことによるものです。また、純資産は1,816百万円となり平成21年3月期に比して21百万円減少いたしました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによるものです。

また、自己資本比率は、0.5ポイント増加の94.7%となりました。

#### ②当第1四半期におけるキャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純損失20百万円及び売上債権の増加9百万円等により36百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出により17百万円の支出となりました。

この結果、現金及び現金同等物の減少額は54百万円となり、当四半期末の現金及び現金同等物期末残高は、156百万円となりました。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期は、概ね計画通り推移しており、現時点では今期の業績予想に変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,175,765	1,230,167
受取手形及び売掛金	100,983	91,625
商品及び製品	12,805	8,250
仕掛品	25,602	23,729
原材料及び貯蔵品	21,918	25,158
その他	7,467	2,758
流動資産合計	1,344,543	1,381,690
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	321,555	323,325
土地	240,988	240,988
その他(純額)	6,029	0
有形固定資産合計	568,572	564,314
無形固定資産	0	0
投資その他の資産	4,149	3,801
固定資産合計	572,722	568,115
資産合計	1,917,265	1,949,805
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	29,279	25,494
1年内返済予定の長期借入金	4,212	4,212
未払法人税等	2,297	6,276
賞与引当金	7,204	10,765
その他	42,451	49,765
流動負債合計	85,445	96,514
固定負債		
長期借入金	14,928	14,928
その他	890	1,060
固定負債合計	15,819	15,989
負債合計	101,264	112,503
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,240,721	1,240,721
資本剰余金	1,393,981	1,393,981
利益剰余金	△818,701	△797,400
株主資本合計	1,816,000	1,837,302
純資産合計	1,816,000	1,837,302
負債純資産合計	1,917,265	1,949,805

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	250,800	160,894
売上原価	151,627	96,690
売上総利益	99,173	64,204
販売費及び一般管理費	96,770	89,166
営業利益又は営業損失(△)	2,402	△24,962
営業外収益		
受取利息	1,937	1,747
助成金収入	—	2,720
その他	285	137
営業外収益合計	2,223	4,606
営業外費用		
支払利息	103	85
株式交付費償却	3,100	—
営業外費用合計	3,203	85
経常利益又は経常損失(△)	1,421	△20,440
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	1,421	△20,440
法人税、住民税及び事業税	847	861
法人税等合計	847	861
四半期純利益又は四半期純損失(△)	574	△21,301

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	1,421	△20,440
減価償却費	10,934	2,777
長期前払費用償却額	128	21
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,171	△3,560
受取利息及び受取配当金	△1,937	△1,747
支払利息	103	85
売上債権の増減額 (△は増加)	△16,850	△9,358
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10,370	△3,188
仕入債務の増減額 (△は減少)	914	3,785
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,505	△6,537
その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,846	△2,555
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,361	8,943
その他	1,772	△1,396
小計	△23,767	△33,172
法人税等の支払額	△3,390	△3,444
営業活動によるキャッシュ・フロー	△27,157	△36,616
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,720	△17,785
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,720	△17,785
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△35,877	△54,401
現金及び現金同等物の期首残高	168,587	210,852
現金及び現金同等物の四半期末残高	132,709	156,450

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。